

電動昇降(EL)デスク/テーブル 取扱説明書(1/2)

この度は「ELデスク」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。お読みいただいた後も、大切に保管してください。

1. 安全のために必ずお守りください

警告 この表記は、取扱を誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表記は、取扱を誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

警告

火災や感電のおそれがあります、以下の事項を必ずお守りください。

- 異常な音やにおいが発生した場合、すぐに電源プラグを抜いて使用を中止し、弊社販売窓口までご連絡ください。異常、故障状態のまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 指定電圧以外の電圧では、使用しないでください。
- 主電源を切らずに製品の取り付け、取り外しをしないでください。
- タコ足配線はおやめください。
- 天板昇降の連続操作は1分以内にしてください。1分間連続操作したあとは10分以上操作しなしないでください。故障するおそれがあります。
- 付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
- 電源コードを傷つけないでください。また電源コードが傷ついた状態で絶対に使用しないでください。
- 昇降ユニット、コントロールボックス、コントロールパネルは絶対に分解しないでください。
- 電源プラグやコンセント周りのゴミや埃は定期的に取り除いてください。
- 電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 屋外や水のかかるところでは絶対に使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 長期間使用しない場合はコンセントから電源プラグを抜いてください。
- 電源コードや他のコード類が外部と繋がれた状態でデスクを移動しないでください。
- 電源コードや他のコード類は天板最高位置または最低位置で余裕が残るよう、十分な長さのものをご使用ください。

- 昇降時、コート類が引っ掛かったりつっぱったりしないようにしてください。断線・ショートや機器転倒のおそれがあります。
- エアソール（スプレー）製品が使われている場合、操作しないでください。

はさまれるなどしてけがをするおそれがあります、以下の事項に十分注意してご使用ください。

- 昇降操作をするときは天板の周囲、特に下に物がなことを確認してください。
- 昇降操作をするときは天板にもぐったり、足や手を入れたりしないでください。
- 昇降操作中は周囲の人に十分注意してください。
- 昇降操作中は脚などの可動部には絶対に触れないでください。
- はさまれるなどしてけがをするおそれがあります。
- 壁面や隣り合う物から天板を25mm以上離してください。
- 昇降操作をするとき、こどもを近づけないでください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

- 天板を下げるときは天板下のサイドキャビネットや椅子を取り除いてから行ってください。破損や故障の原因となります。
- 天板を下げているときに誤って椅子やサイドキャビネットなどに当たった場合はただちに操作を中止し、天板を上げてください。転倒や破損のおそれがあります。
- 天板下にサイドキャビネットを設置する場合はサイドキャビネット天板に手をかけないでください。挟まれてけがをすることがあります。
- 廃棄する時は購入店にご相談下さい。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

- 脚の伸縮部に触れないようにしてください。潤滑剤が手や衣服を汚すおそれがあります。
 - 本体を移動する場合は引きずらないでください。本体が破損することがあります。
 - 添付の組立説明書にもとづいて、組立・設置をしてください。誤った組立・設置をすると、破損やけがをすることがあります。
 - 操作をするときには手を可動部からはなしてください。可動部に手をはさまれてけがをすることがあります。
 - 可動部のすきまに手を入れないでください。手を挟んでけがをすることがあります。
 - 天板を持って移動しないでください。本体が落下してけがをすることがあります。
 - 火のそばに近づけて使わないでください。火災になることがあります。
 - ポルトやねじがゆるんだまま使わないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
 - 天板や本体の上に乗らないでください。天板が急に下がったり本体が倒れたりしてけがをすることがあります。
 - 最大積載質量を超えて物を載せないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 最大積載質量：45 kg（等分布質量）**
- 用途以外に使用しないでください。破損やけがをすることがあります。
 - 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
 - 使用していないネジ穴や取付穴に指を入れないでください。（特にお子様にご注意ください。）事故やけがをすることがあります。
 - 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にご相談ください。破損や本体が倒れてけがをすることがあります。
 - 乱暴な取り扱いや、用途以外に使用しないでください。事故やけがをすることがあります。
 - 第三者に譲渡または貸与するときは、取扱方法を十分に説明してください。
 - お子様が近くにいる環境では組み立てないでください。小さな部品を飲み込んだり、部品でけがをすることがあります。
 - 子供が遊具代わりにしないようにしてください。また操作をさせないでください。けがをすることがあります。

2. 健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

1. 製品購入時の注意事項
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
2. 温度や湿度の変化による換気の励行
室内が著しく高温多湿になる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

3. 主な材質

天板/木口材	合成樹脂化粧パーティクルボード（メラミン樹脂）/ABS樹脂
脚/フレーム	スチール、粉体塗装

4. ご使用上の注意

1. 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色・変形することがあります。
2. 湿気の多いところには置かないでください。腐食、変形することがあります。
3. 屋外や水のかかるところでは使用しないでください。サビや破損を引き起こす原因となります。

5. お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれそうきんなどで拭いてください。
2. 昇降装置に注油等を行わないでください。
3. 脚の伸縮部に潤滑剤がでることがあります。気になる場合は布等で軽く拭いてください。溶剤等で拭き取ると故障することがあります。

6. ご使用方法

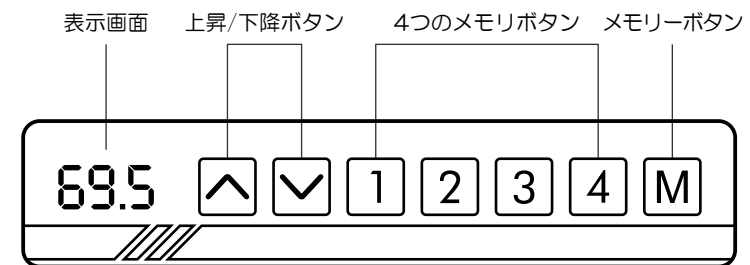
1. 設置方法

壁面や隣り合う物から天板を25mm以上離して設置してください。

2. アジャスターの調整

設置の際はアジャスターにより床面との水平を保つようお願いいたします。アジャスター調整は、手や足をはさまないように、2人以上でしっかり支えて行ってください。

3. ハンドセットの使い方



警告

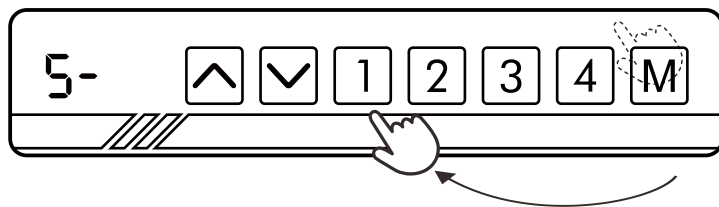
壁面や隣り合う物から天板を25mm以上離してください。はさまれるなどしてけがをするおそれがあります。

注意

- テーブルの上に障害物がないことを確認してください。
- 天板が壁に触れていないことを確認してください。
- 全てのコードが高さの変化に対応できる適切な長さであることを確認してください。

メモリー機能

希望の高さを記憶させることができます。上昇/下降ボタンを押し、設定したい高さに合わせてます。次にメモリーボタンを押し、”S-”の画面表示を確認後、設定したい数字ボタン(1~4)を押し、設定完了です。設定した数字ボタンを押すと自動的に設定の高さまで昇降します。



リセット操作

以下の場合にはリセットしてください。

- ・コントロールボックスからエラーメッセージ
- ・LEDディスプレイからE07-E09のエラー
- ・電源差し直しでもエラー表示
- ・全ての動作が不可能

解除方法

デスクを最低位置にセットし、下降ボタンから一度、指を離します。再度、下降ボタンを長押しして「RST」が表示されたら指を離します。再度、下降ボタンを長押しし、デスクが少し上がります。また画面に「60.5」と表示されたら指を離します。
※リセットしてもエラー改善しない場合は、1度コンセントを抜き、3分待ってからコンセントを入れ直してください。



7. 不具合とエラーメッセージについて

不具合の詳細

エラー	原因	対処方法
途中で昇降動作が止まる。	障害物に接触。	障害物を取り除いてください。
上昇/下降ボタンを押しても高さが変わらない。	配線が間違っている。	プラグ接続が間違っていると動作しません。説明書を参考に配線接続の確認をしてください。
ハンドセットが表示されない。	ハンドセットの不認識	全てのコードを差し直してください。

エラーコード一覧

エラーコード	エラー内容	対処方法
E01/E02	過電流保護	リセットをしてください。
E07/E08	センサー反応異常	全てのコードの接続確認をおこないリセットしてください。
E013	コントロールボックス反応異常	リセットをしてください。
H01	過熱保護	全てのコードを差し直してください。

上記の操作を行っても改善しない場合は、ガラージお客様センターにお問い合わせください。

8. 安全装置について

警告

- 安全装置機能は天板やパネルが他のものに接触したとき、製品や物の破損を防ぐための機能ですが、全ての条件下ではたらくことを保証するものではありません。
- 天板昇降操作をするときは周囲に接触するものがないか必ず確認しながら行ってください。
- 天板やパネルに接触するものが柔らかい場合やたわみやすいもの場合は、安全装置機能がはたらかない場合があります。接触しても安全装置機能がはたらかない場合はすぐに操作を中止してください。
- もし挟まってしまったら、上昇ボタンまたは下降ボタンで少しづつ戻してください。

- 本製品には天板昇降中の挟み込みを軽減するため、安全装置機能が搭載されています。
- 天板昇降操作中に天板が他のものに接触して負荷や振動が加わると安全装置機能がはたらきません。
- 天板昇降操作中に安全装置機能がはたらいた時は天板が他のものに接触していないか確認してください。

9. 製品の仕様に関するお問い合わせ先

製品の仕様に関するご質問は、各製品に貼付してあります商品表示シールの品番・製造番号をご確認の上、下記のカスタマーサービスにお寄せください。

ガラージお客様センター / ☎ 0120-331-753

受付曜日
月曜日～金曜日(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等は除く)

品質表示

- 外形寸法

品番	幅	奥行	高さ
EL-127H	1140 × 700	× 600	1250mm
EL-147H	1340 × 700	× 600	1250mm
EL-189M	1800 × 900	× 600	1250mm
- 甲板の表面材
合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)
- 木口材
ABS樹脂
- 表面加工
粉体塗装
- 取扱い上の注意
 - ・直射日光又は暖房器具等の熱を避けてください。
 - ・加熱した鍋、湯沸かし等を直接置かないでください。

表示者 プラス株式会社
☎ 0120-331-753

電動昇降(EL)デスク/テーブル 組立説明書(1/3)

組立方法 (必ず二人以上で作業してください。)

- お子様が近くにいる環境では組み立てないでください。小さな部品を飲み込んだり、部品で怪我をすることがあります。
- 組立及び設置は、必ず組立説明書(本紙)にもとづいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品・付属品をご確認ください。
- 作業は製品の表面をキズつけないよう、梱包箱や毛布等のあてものを敷いて行ってください。
- プラスドライバー/電気ドリルをご準備ください。



付属品・・・六角レンチ



2人以上で組立

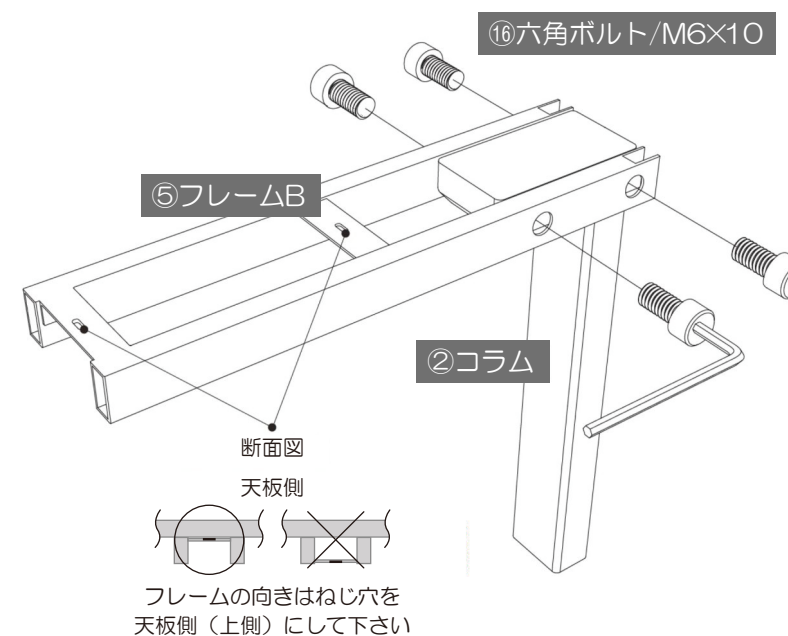
■組立部材・部品一覧

①天板		②コラム		③フット	
1枚		2個		2個	
④フレームA/コントロールボックス側		⑤フレームB		⑥中央レール	
1個		1個		2個	
⑦コントロールボックス	⑧ACアダプター	⑨アダプター固定座	⑩サイドブラケット	⑪ハンドセット	
1個	1個	1個	2個	1個	
⑫電源ケーブル	⑬接続ケーブル	⑭結束バンド	⑮結束バンド(細)	⑯六角ボルト/M6×10	⑰六角ボルト/M6×14
1個	1個	10個	3個	8本	12本
⑱六角ボルト/M6×16	⑲木ねじ/ST5×16	⑳イモネジ/M6×10			
7本	4本	8本			

1.コラムとフレームの組立



④フレームA、⑤フレームBの中から⑥中央レール2本を取り外してください。

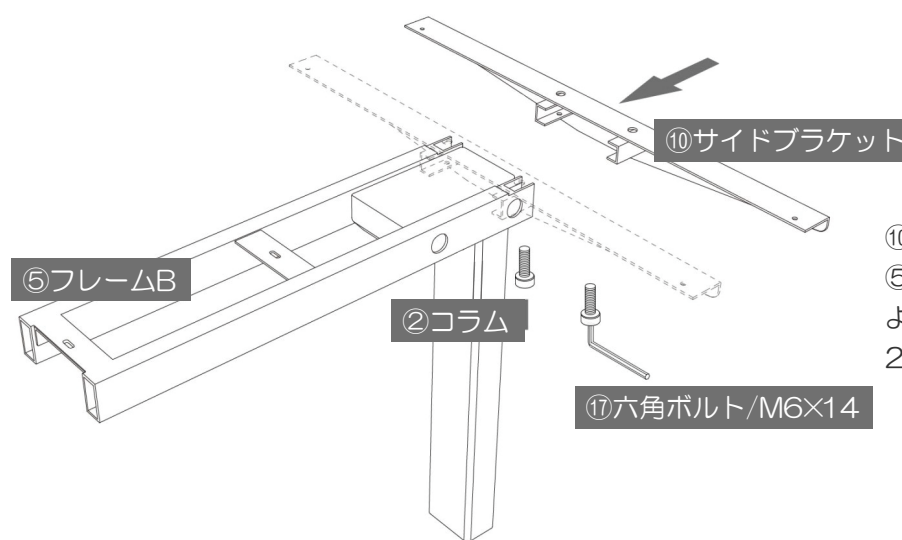


②コラムを、④フレームA、⑤フレームBそれぞれに入れて、図のように①六角ボルト/M6×10(4本)を取り付けます。

△ 注意

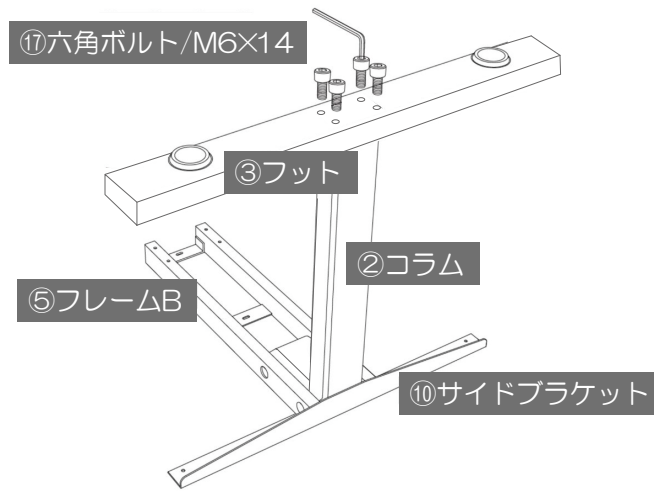
ネジがフレームに落ちましたら、フレームの角度を斜めにして取り出してください。

2.サイドブラケットの組立



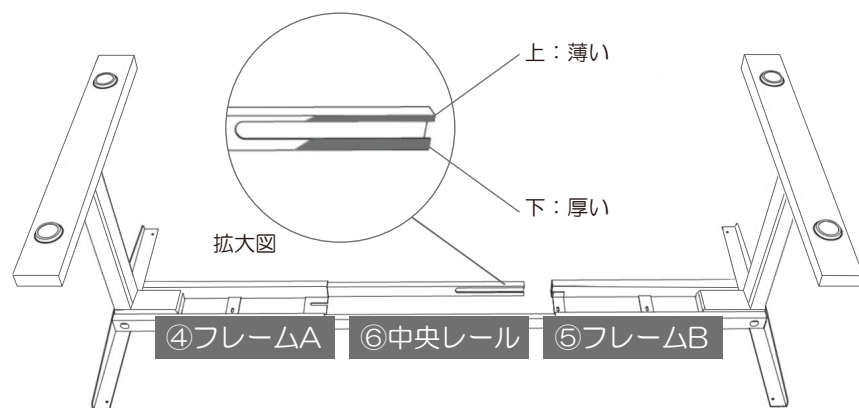
⑩サイドブラケットを④フレームA、⑤フレームBそれぞれに入れて図のように⑰六角ボルト/M6×14(片側2本)を使い、取り付けてください。

3.両側フットの組立



図のように⑰六角ボルト/M6×14 (片側4本)を使い②コラムと③フットを取付けてください。

4.中央レールの組立

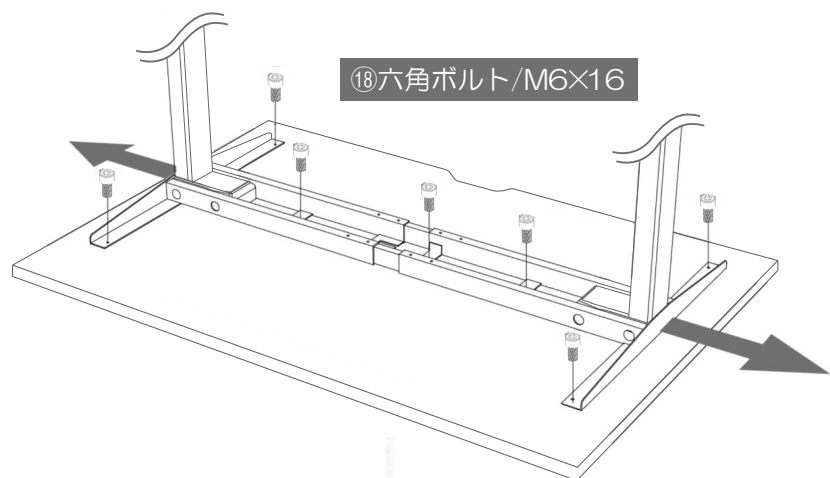


図のように⑥中央レールを両側のフレームに入れてください。レールの薄い方が上向きです。

△ 注意

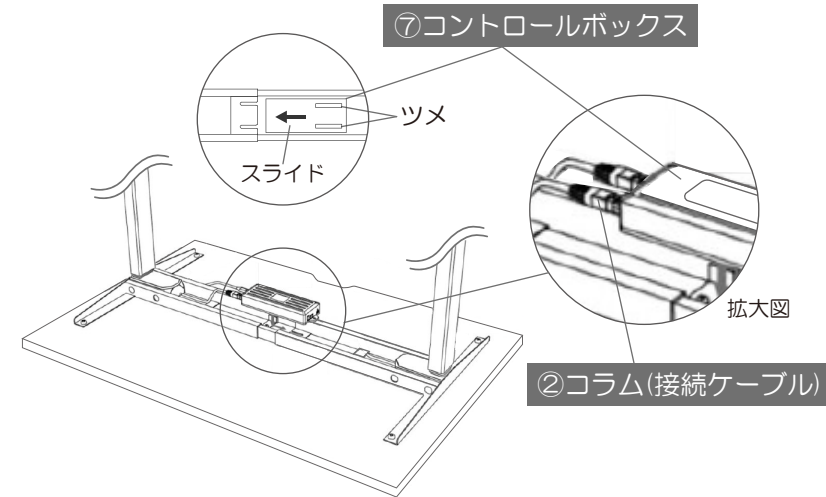
二人で協力して作業をしてください。

5.天板の組立



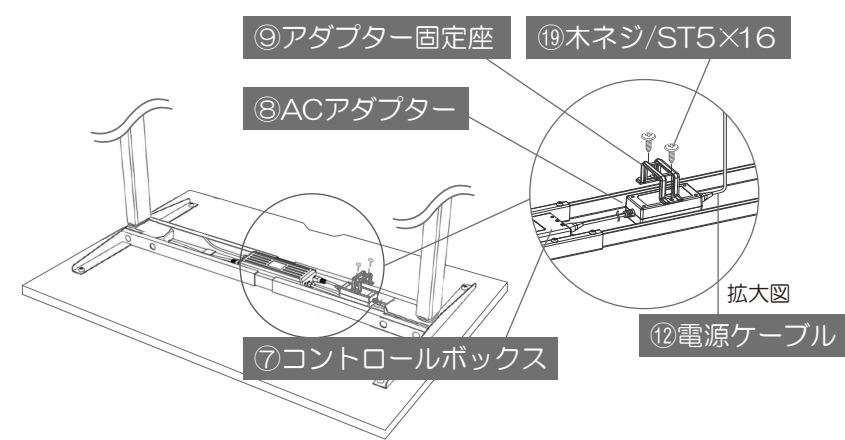
図のようにデスクフレームを①天板裏側の取付位置に調整して、⑱六角ボルト/M6×16 (7本)のボルトで固定してください。
※天板側(中心付近)の鬼目ナットは1か所固定せず余ります。

6.コントロールボックスの取付



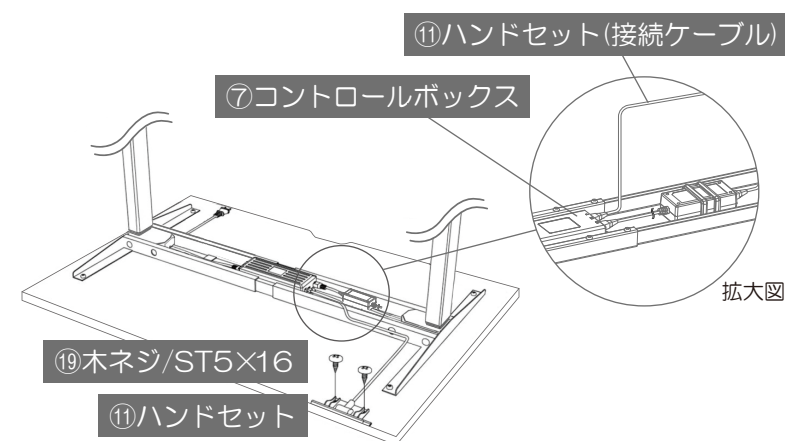
図のように⑦コントロールボックスをスライドさせてレールに取り付けます。両側の②コラムの接続ケーブルを⑦コントロールボックスの「M1」と「M2」の差し込み口のそれぞれ接続してください。
ケーブルの長さが足りない場合は、⑬接続ケーブルを使用してください。

7.ACアダプターの取付



図のように⑧ACアダプターと⑨アダプター固定座をフレームの間に⑱木ねじ/ST5×16 (2本)で下穴位置に合わせ取り付けてください。⑧ACアダプターのケーブルを⑦コントロールボックスの「DC」の差し込み口に接続してください。
最後に、⑫電源ケーブルを⑧ACアダプターの差し込み口に接続してください。

8.ハンドセットの取付

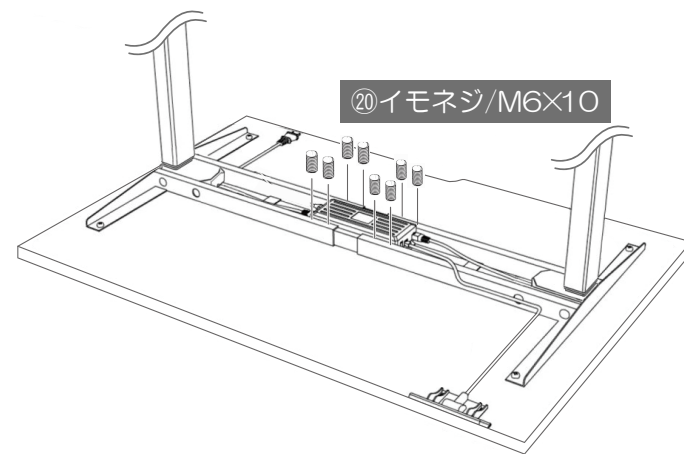


⑪ハンドセットの付け位置を確認して、図のように⑱木ねじ/ST5×16 (2本)を使い、⑪ハンドセットを天板裏に取り付け、ケーブルを⑦コントロールボックスの「HS」の差し込み口に接続してください。

※左右2か所に下穴があり、いずれかを選んで取付けてください。



9.中央レールの固定

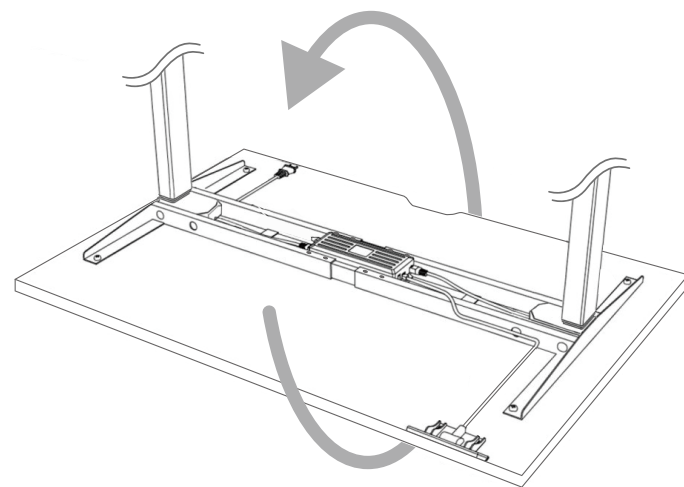


図のように⑳イモネジ/M6×10 (8本)を使い、㉕組立フレームと㉖中央レールを取り付けてください。

△ 注意

中央レールは左右中心に位置合わせし、イモネジを締めこんだ際に固定されていることを確認してください。

10.テーブルの設置

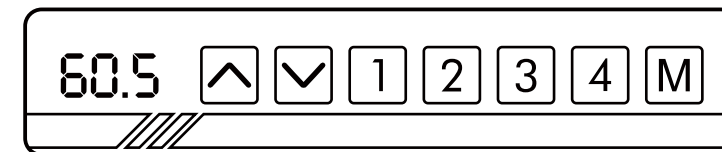
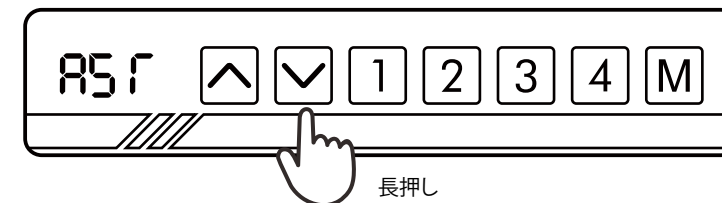
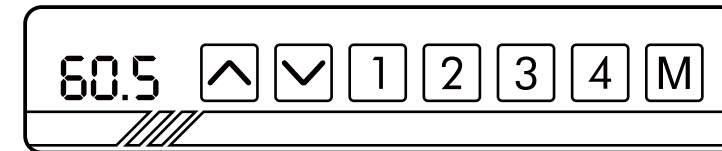


組み立てたテーブルを回転して起こしてください。電源コードを100Vコンセントに差し込みます。

△ 注意

二人で協力して作業をしてください。

11.ハンドセットの初期設定



電源ケーブルをコンセントに接続し、電源をつける。

△ 注意

数値は「60.5」からずれることがあります。

下降ボタンを1秒程度押し、指を離します。再度下降ボタンを「RST」と表示されるまで長押しします。

△ 注意

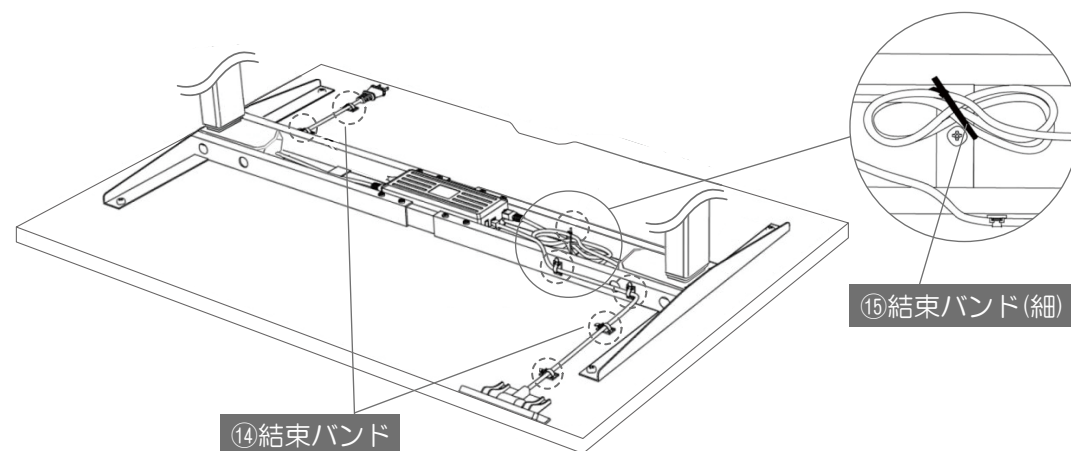
長押しは5秒程度になります。

再度下降ボタンを長押しし、デスクが少し上がって画面に「60.5」と表示されたら初期設定が完了になります。

△ 注意

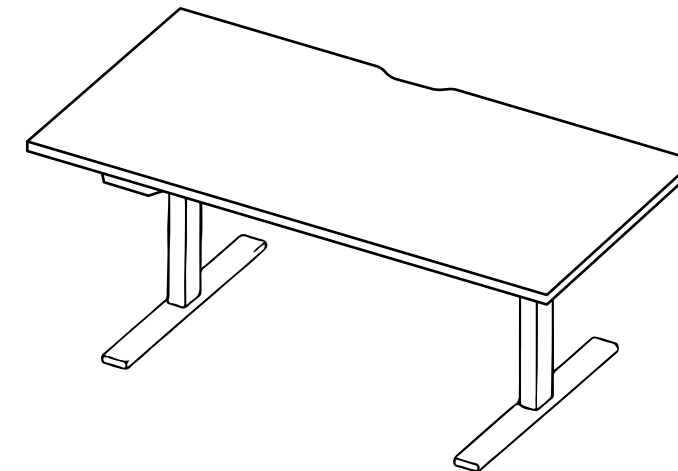
数値は「60.5」からずれることがあります。

12.完成



天板を一番高い位置に設定します。図のように⑭結束バンドをつかい、②コラム、⑪ハンドセットのケーブルと⑫電源ケーブルを天板裏に固定してから⑮結束バンド(細)をつかい、ケーブルをまとめて固定してください。

※図の点線部が⑭結束バンドの推奨位置になります。⑫電源ケーブルの固定は電源コンセントやスネークケーブル(オプション品)の位置に合わせて、固定位置を調整してください。



テーブルを所定の位置に設置してください。床面の状態により、本体の傾きやガタつきがある場合はアジャスターの調整を行ってください。

△ 注意

電源コードは、デスクを一番上に上げた時でも長さが足りるよう確認してください。